

令和 6(2024)年 1 月 16 日
文教厚生常任委員協議会
教育総務課・学校教育課

柏崎市学区等審議会の第二次答申内容と 学区再編に向けた今後のスケジュールについて

I これまでの経過

令和元(2019)年

柏崎市第五次総合計画後期本計画案に、「児童生徒が減少する中での適正な施設規模及び教育に適した学校配置を検討し、良好な教育環境の整備を行う」ことを、教育に関する主要施策の方向の一つとして明記（令和 4(2022)年 3 月策定）。

令和 3(2021)年

2 月 総合教育会議にて「児童生徒数の見込み」を示し、学区見直しの P T 設置を報告

3 月 市長記者会見にて「適正な学校規模や学区の在り方を検討する」ことを発表

5 月 教育委員会内に P T 設置

7 月 広報かしわざき 2 0 2 1 年 7 月号に「市内児童生徒の推移と見込み」を掲載し、適正な学校規模や学区の在り方の検討を開始することを市民に周知

1 1 月 定例教育委員会にて学区再編方針を承認

1 2 月 学区再編方針を決定

令和 4(2022)年

1 月・市議会文教厚生常任委員協議会にて学区再編方針を報告

・第 1 次答申対象地域(東中、第五中、鯖石小、高柳小)の代表者へ学区再編方針を説明

2 月 広報かしわざき 2 0 2 2 年 2 月号に「小・中学校の再編方針をお示しします」を掲載し、市立小・中学校の適正規模や適正配置を推進するためのロードマップを市民に周知

4 月・学区等審議会を設置し学区再編方針を諮問

諮問の内容（学校の統合方針）

◆第 1 次答申 <令和 4(2022)年 1 0 月末まで>

①鯖石小学校と高柳小学校の令和 6(2024)年 4 月統合について

②東中学校と第五中学校の令和 6(2024)年 4 月統合について

◆第 2 次答申 <令和 6(2024)年 3 月末まで>

①日吉小学校と中通小学校の令和 8(2026)年 4 月統合について

②剣野小学校と鯨波小学校及び米山小学校の令和 8(2026)年 4 月統合について

・審議会が第 1 次答申に向け審議を開始（以降、月 2 回審議会開催、令和 4(2022)年 1 1 月 1 日までに 1 4 回実施）

7 月・審議会委員が第 1 次答申対象校の授業を見学するとともに教職員と意見交換

・第 1 次答申の対象地域へ学区再編方針内容の説明と意見聴取（教育委員会主催）

- 9月 第1次答申の対象地域へ答申素案の説明と意見交換（学区等審議会主催）
- 10月・高柳地域住民と教育委員会との意見交換会（後日、意見に対する書面回答）
 - ・学区等審議会から第1次答申を受理
 - ・教育委員会臨時会（教育委員への第1次答申内容報告）
- 11月・総合教育会議において第1次答申に係る統合計画を決定
 - ・学区等審議会へ第1次答申に係る統合計画の内容を説明
 - ・市議会文教厚生常任委員協議会へ第1次答申に係る統合計画の決定を報告
 - ・高柳、南鯖石及び中鯖石地域の住民と市長、教育長との意見交換会

令和5(2023)年

- 1月 審議会が第2次答申に向け審議を開始（以降、月1回審議会開催、令和5(2023)年12月14日までに14回実施）
- 2月 中通地域、鯨波地域、米山地域で学区再編方針の説明と意見交換（教育委員会主催）
- 3月 剣野地域、日吉地域、上米山地域で学区再編方針の説明と意見交換（教育委員会主催）
- 5月 審議会委員が鯨波小、米山小、剣野小の授業を見学するとともに教職員と意見交換
- 6月 審議会委員が中通小、日吉小の授業を見学するとともに教職員と意見交換
- 9月・鯨波小学校区住民と教育委員会との意見交換会
 - ・鯨波小及び米山小学校区住民を対象に、剣野小学校見学会を開催
- 10月・中通小学校区住民を対象に、日吉小学校見学会を開催
 - ・第2次答申対象地域へ審議途中経過の説明と意見交換（学区等審議会主催）
- 12月・学区等審議会から第2次答申を受理（別紙のとおり）
 - ・教育委員会定例会で教育委員へ第2次答申の内容を報告

令和6(2024)年

- 1月・総合教育会議において第2次答申に係る統合計画を決定
 - ・学区等審議会へ第2次答申に係る統合計画の内容を説明
 - ・市議会文教厚生常任委員協議会へ第2次答申に係る統合計画の決定を報告

II 統合計画

1 日吉小学校及び中通小学校の統合について

(計画) 令和8(2026)年度に日吉小学校と中通小学校を統合する。校舎は現在の日吉小学校を使用する。

(補足) 学区等審議会の「日吉小学校と中通小学校の統合は妥当」との答申結果や、保護者や地域の皆様から直接お聞きしたご意見を踏まえ、学区再編方針のとおり令和8(2026)年度に日吉小学校と中通小学校を統合する。また、校舎は現在の日吉小学校を使用する。

なお、統合後も中通地域を活用した教育プログラムを理科・社会・総合学習等の授業へ積極的に取り入れてもらい、これまで行われてきた地域が関わる教育活動の継続について配慮する。

2 剣野小学校と鯨波小学校及び米山小学校の統合について

(計画) 令和8(2026)年度に剣野小学校と鯨波小学校及び米山小学校を統合する。校舎は現在の剣野小学校を使用する。

(補足) 保護者や地域の皆様との意見交換において、鯨波小学校での少人数教育を強く望む意見もあった。しかし、学区等審議会の「剣野小学校と鯨波小学校及び米山小学校の統合は妥当」との答申結果を尊重するとともに、統合して一定の児童数を確保した方が、「子ども達にとって望ましい教育環境」が提供できると判断し、学区再編方針のとおり、令和8(2026)年度に剣野小学校と鯨波小学校及び米山小学校を統合する。また、校舎は現在の剣野小学校を使用する。

なお、統合後も鯨波小学校区及び米山小学校区の地域を活用した教育プログラムを理科・社会・総合学習等の授業へ積極的に取り入れてもらい、これまで行われてきた地域が関わる教育活動の継続について配慮する。

3 学区等審議会から市及び教育委員会への要望について

(1)今回の学区再編方針による学校統合は対等統合であり、一つの学校(学校が残る側)の地域だけを表す校名、校歌、校章などを統合後に使うことは、学校がなくなる地域にとって受け入れ難いため、これらを新しいものにすることを基本とし、統合準備委員会において市がその方向を明確に示してほしい。このことを含め、統合する学校それぞれの特色が反映される環境を整えるべきである。

▶ 統合後の校名、校歌、校章については、統合対象校の保護者及び地域住民の代表等で構成する統合準備委員会において検討のうえ、決定されることになる。市及び教育委員会としては、学区再編方針における学校統合は対等の統合であることを踏まえ、統合後の校名、校歌、校章はいずれも白紙の状態から検討し、できるだけ多くの児童、保護者、地域住民から納得いただける検討結果となるよう同会に依頼する。あわせて、同会の円滑な運営を支援するとともに、統合する学校の特色が統合後も引き継がれるよう、学校と連携しながら教育環境及び教育プログラムの構築に努める。

(2)統合により学校区が広がるため、子ども達が休日などに安全に移動や交流ができるように、また地域の一体化が進むように、歩道の整備を進めてもらいたい。特に、今答申の2件の統合で対象となっている学校をそれぞれつなぐ国道8号の歩道整備を道路管理者に働き掛けてほしい。

▶ 児童生徒が登下校等に利用する歩道や道路の整備については、市道を管理する本市都市整備部、県道を管理する柏崎地域振興局地域整備部、国道を管理する国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所の他、柏崎警察署、本市市民生活部及び教育委員会で構成する「柏崎市通学路安全推進協議会」において状況を共有するとともに、歩道整備を含めて必要な対策を検討し、子ども達の安全確保に取り組む。

(3)学区再編方針で示された令和12(2030)年度の次期統合案については、できるだけ早期に、一層の周知活動と、地元との話し合いを始めるべきである。

- ▶ 全国において少子化に歯止めがかからない中、本市の小・中学校においても更なる児童・生徒数の減少が推測されている。また、目まぐるしい変化の時代を迎え、教育現場はその潮流を捉えた環境の整備が求められている。一方、現在示している令和12(2030)年度の次期統合案は、令和3(2021)年12月までの状況に基づき策定したものであることから、具体的な検討を開始する際には、統合案が教育環境や社会の変化を的確に捉えているかを改めて検証する必要がある。その一環として、市民への学校統合に関する情報の発信や、地域住民や保護者との意見交換などを、適切な時期を見極めた上で行う。

(4)第1次答申で要望した次の8項目は、学校統合を検討する上での基本的な要望であり、引き続き対応を求めたい。①地域学習の積極的な導入 ②学校がなくなる地域での地域づくりへの支援 ③保護者と児童・生徒の理解を得られる通学バス運行 ④余裕のあるスケジュールでの統合計画提示 ⑤地元との合意形成のための新たな仕組みや手法の検討 ⑥財政面からの検討の明示 ⑦統一本に絞るのではない再編の在り方、小規模特認校などの研究 ⑧長期的な視点での市立小・中学校の在り方の想定と、それに基づいた一貫した再編の検討。

⑧については、将来的に必要なとの視点で挙げていたが、今答申の審議を踏まえ、改めて以下のように要望する。

今回の再編方針の対象になっていない学校も含め、長期的な市立小・中学校の在り方について早期に検討を始めてほしい。

- ▶ 本市における今後の市立小・中学校の在り方については、引き続き長期的かつ全市的な視点での検証が必要であると認識しており、一貫した再編の検討が行える体制を関係課と連携しながら出来るだけ早く構築したい。また、第1次答申での要望事項については、第2次答申での要望事項と併せ、今後の具体的な統合準備及び新たな学区再編の検討に反映するよう努める。

Ⅲ 第2次答申に係る今後の計画（予定）

令和6(2024)年

1月 教育長が決定した第2次答申に係る統合計画を対象地域へ説明

- ・ 16日(火) 中通地域 ・ 17日(水) 鯨波地域 ・ 18日(木) 米山地域
- ・ 23日(火) 日吉地域 ・ 24日(水) 剣野地域

5月 統合準備委員会による協議を開始

令和8(2026)年

3月 日吉小学校、鯨波小学校、米山小学校が閉校

4月・日吉小学校と中通小学校が統合

- ・ 剣野小学校と鯨波小学校及び米山小学校が統合